



情報誌

FAR

62 号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

創立 80 周年の新年を迎えて

副会長 藤田 透



FAR 会の皆さま、明けましておめでとうございます。

2022 年、ご健勝で明るいスタートを切られたこととお慶び申し上げます。今年の干支は「寅」、正確には「壬寅(みずのえとら)」ということです。干支は十干と十二支の組み合わせですので一巡に 60 年、60 年前の 1962 年を振り返ると、第 2 次池田勇人内閣の高度成長政策で急速な経済成長、堀江謙一氏の小型ヨットによる日本人初の太平洋単独横断成功、ビートルズがレコードデビュー、東京におけるスモッグの問題化、大学文学部の女子比率が増加したことによる「女子学生亡国論」が話題になったということです。また歌謡曲では「いつでも夢を」(橋幸夫・吉永小百合)、「遠くへ行きたい」(ジェリー藤尾)、「下町の太陽」(倍賞千恵子)などが流行し、映画では「101 匹わんちゃん大行進」が空前のヒットした年でもあつたそうです。

「壬寅」は「陽気を孕み、春の胎動を助く」そうで、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる、芽吹き新しい成長の礎になるとのことです。昨年も「COVID-19」流行に振り回された 1 年になりましたが、ワクチン効果等によりやっと落ち着きをみせてきました。今年こそは明るく活気ある 1 年にしたいものです。

さて、本学会は今年創立 80 周年を迎えました。1942 年 11 月 16 日、大戦のさなかに創立準備委員会が開催されたということで、この会議には日本レントゲン協会(関東)・日本放射線技術学会(関西)・九州医学放射線技術者会等の全国から代表者 22 名のほか日本医学放射線学会の代表者 9 名が京都に集まり、この日をもって本学会の創立となりました。この創立前後には先達の相当なご苦勞があったことは測り知れます。詳細は日本放射線技術史(1989 年発刊)に記録として残されています。FAR 会の会員の中にも当時の経緯を知る方は殆どおられなくなってきました。そんな意味でも技術史を残すことは重要なことであり、創立 60 周年にあたる 2002 年には日本放射線技術史第二巻が発刊されました。そして創立 80 周年にあたる今年も日本放射線技術史第三巻(錦成郎編纂責任者)を発刊すべく 3 年前から準備されてきました。これには第二巻以降 2020 年までの学会史を編纂対象としており、20 年間の技術変遷、技術学会のターニングポイント、技術科学研究の変遷等が纏められています。編纂・執筆も順調に進み、3 月末には発刊される見込みです。また、創立 80 周年を記念した新春座談会も開催され、この内容は学会誌第 78 巻第 1 号(1 月 20 日発行)に掲載されることになっています。FAR 会の皆様には是非ご覧いただきたく思っています。

「壬寅」の本年が FAR 会の皆様およびご家族に大きく希望の芽生える年となり、明るい 1 年となりますよう祈念しております。

内 容

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. ごあいさつ | 副会長 藤田 透 |
| 2. 第 78 回総会学術大会へのお誘い | 大会長 白石順二 |
| 3. 2022 FAR 会 懇親の夕べ | 代表幹事 石井 勉 |
| 4. 会員動向 | |
| 5. 会からのお知らせ | |
| 6. JSRT 情報 | |
| 7. 連載「安比奈廃線観て歩き」その 5 | 川越市 森 克彦 |
| 8. 編集の小窓 | |

ハイブリッド開催の本当の良さを求めて
～多くの会員に学会を楽しんでもらうために～

FAR 会の皆様、新年おめでとうございます。



毎年4月に横浜で開催されている本学会の総会学術大会も新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、2020年(奥田保男大会長)は残念ながらWeb開催のみとなりましたが、2021年(西出裕子大会長)では現地とWebの両方で少し間隔をあけて開催することができました。2022年の第78回では、第77回

JRC2022 のメインテーマは、“未来への潮流と変革 Radiology - A key for the paradigm shift”です。このテーマが意図するところは、新しい装置や人工知能(AI)技術の導入等により放射線診療の在り方が見直されている現状において、新しいこれからの時代に向けて、どのような舵取りをするべきか、ということ放射線診療に携わる皆で考えてみようということだと私は考えています。そのため、大会長企画のシンポジウムでは、JSRT に関係が深い JRC、JRS、JART、そして JSMP の代表理事、会長、大会長を講師としてお招きし、放射線診療の中にあつて JSRT がこれから目指すべき方向性について、ご意見をいただき、その様子をライブで Web 参加の皆様にもご覧いただく予定です。その他、2019 年の秋季大会時まで 4 回にわたり開催されていた本学会の国際会議 ICRST(International Conference on Radiological Sciences and Technology)を、JRC2022 からは、名称を ICRPT(International Conference on Radiological Physics and Technology)と改め、新たに JSMP との共催で開催いたします。今後、会員にとっての国際会議への登竜門と



JRC2022

未来への潮流と変革
Radiology—A key for the paradigm shift

会場 **2022年4月14日(木)～17日(日)**

会場 **パシフィコ横浜**

第**81**回 **日本医学放射線学会総会**
会長 **村上 卓道** 神戸大学

第**78**回 **日本放射線技術学会総会学術大会**
大会長 **白石 順二** 熊本大学

第**123**回 **日本医学物理学会学術大会**
大会長 **西尾 禎治** 大阪大学

JIRA 同時開催 ITEM 2022国際医用画像総合展
2022年4月15日(金)～17日(日)

JRC Japan Radiology Congress

日本ラジオロジー協会 <http://www.j-rc.org/>

日本放射線技術学会、日本放射線物理学会、日本放射線診断学振興会、日本放射線治療学振興会、日本放射線防護学振興会、日本放射線教育振興会の合同行事として開催されています。

して、活用していただけることを期待しています。

4月の横浜での開催が開始するまでは、まったく予断を許さない状況ではありますが、現地参加でもWeb参加でも、どちらでも学術大会の良さを楽しんでもらえるよう、実行委員会が精一杯の力で準備を進めております。また、2021年度において「Covid-19」による感染拡大で研究活動が縮小してしまった会員の皆様への研究助成として、JRC2020と同様に、本大会に参加される正会員の皆様につきましては2023年度の年会費に対して3,000円の助成を行います。これにより、多くの会員の皆様が参加してくださることを願っています。

《2022年 FAR会懇親の夕べ》

2022年度、懇親の夕べのご案内

代表幹事：石井 勉

日 時：2022年4月16日(土)19時より

場 所：美濃吉・横浜みなとみらい店

会 費：10,000円

みなとみらい線「みなとみらい駅」下車 徒歩5分 4階

駅からのアクセス

みなとみらい線 / みなとみらい駅 徒歩5分(350m)

JR京浜東北線 / 桜木町駅 徒歩6分(460m)

みなとみらい線 / 馬車道駅 徒歩10分(800m)

何時開催したのか覚えていません。すっかり忘れておりました。そこで10年前に一度開催されました。京料理「美濃吉」を再度選択致しました。この10年を顧みて自分の変化に驚いてください。若返った人もいでしょう。逆にお年を召した人もいでしょう。



自分の変化が解らない人もいでしょう。そして自分は自分と確立しましょう。そういう楽しいひとときを皆様とご一緒に過ごせば幸いです。

横浜での再会を楽しみにしております。

《会員動向》

会員情報(2021年11月30日現在)

- (1) 会員数：92名(内、名誉会員：15名)、 (2) 新入会者：1名(隅田博臣)、
(3) 退会者：ナシ、(4) 死亡退会者：ナシ

{新入会員紹介}

スミタ ヒロオミ

隅田 博臣(広島県広島市、2021年11月19日入会)



【近況】平成の最終年3月末で広島大学病院を退職しました。技師長職に就いた約20年前より臨床から離れ、退職後臨床への復帰は考えられませんでした。現在、広島大学緊急被ばく医療推進センターの職員として、原子力災害医療対応を行っていますが、2020年からのコロナ禍で各地に出向くことができず机上で国の指針やマニュアルと向き合っている毎日です。毎日椅子に縛り付けられていますので、お腹周りがとても気になっているこの頃です。

【趣味】無趣味が私の趣味で、気に入ったことには何でも手を出してしまいます。現役時代は下手でしたがゴルフコースに出るのがとても楽しかったです。最近は握力がなくなりクラブが握れません・・・歳なのかな！ 元々歩くのが好きで、山歩きもしていました。最近トレッキングシューズを購入しましたので散策を再開したいと思っています。

(「写真」ならびに、「近況」「趣味」の記述内容は入会申込書に記載されたものです。)

《会からのお知らせ》

《2021年度第2回世話人会議報告》

2021年10月16日に熊本城ホール(熊本市)会議室において、川上壽昭会長以下11名の出席の下2021年度第2回世話人会議を開催し、以下の議題を検討・審議した。

尚、欠席の世話人各位より「決定・議決については、議長に一任する」との同意を得て会議を行った。

【議 題】

1. 報告事項

(1) 会務報告

1) 会員動向

会員数(2021年9月20日現在)：91名(内、名誉会員：14名)

2021年9月末現在

- ・新入会員：ナシ
- ・死亡退会者：2名(筒井政光(2021年4月28日逝去)、水谷 宏(2021年7月9日逝去))
- ・自己退会者：ナシ
- ・会費未納による退会者：ナシ

2) 2021年度第1回世話人会議メール会議報告(詳細内容は会議終了後議事録送付済)

- ・日時：2021年4月2日メール配信、返信締切日：2021年4月9日
- ・会議形式：メールによる文書会議
- ・主な議題：①報告事項 ②2020年度事業報告、収支決算書報告並びに、会計監査報告 ③2021年度事業計画(案)・収支予算(案)の提案 ④情報誌発行計画 ⑤懇親活動計画 ⑥その他

3) 事務局報告(資料 1-1-3 会務報告書、月別収支計算書)

会務報告書並びに、月別収支計算書に基づき各々報告した。

(2) 事業報告

1) 情報誌関係

- ・情報誌第60号を2021年5月15日付け、全16頁で発行した。

- ・情報誌第 61 号を 2021 年 9 月 15 日付け、全 8 頁で発行した。
尚、第 61 号に故筒井政光名誉会員への追悼記事を掲載した。
- ・情報誌第 62 号を 2022 年 1 月 15 日付けで発行とし、「巻頭言」執筆者：藤田 透副会長で発行予定とした。

2) 懇親活動関係

本年度の懇親活動はコロナ禍の影響により、春季・秋季の懇親活動は中止となった。

以上、報告事項は報告通り了承した。

2. 2022 年度からの世話人の人選

本来なら 2020 年度から新世話人体制で会務運営を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染状況により規約第 10 条第 2 項^{脚注1}に定められている通常総会と位置付けられている世話人会議(総会学術大会時)が開催出来ず、今日に至っている。従って、2021 年度第 2 回世話人会議に於いて 2022 年度からの世話人を選定しなければならない。

現世話人：石井 勉、井手口忠光、今井方丈、上田克彦、江口陽一、江島光弘、川上壽昭、
神澤良明、草山泰子、小水 満、佐藤幸光、柴田崇行、橋本廣信、平野浩志、
平林久枝、藤田卓造、藤田 透、堀田勝平、本間龍夫、前田幸一、森 克彦、
梁川 功、山 哲男、中園誠善(24 名)である。

尚、下線を付した各位は、本年度を以って世話人を退任する意思が強い世話人である。

種々検討の結果、本年度を以って退任の意思が強い者を除き、現世話人の再任を主とする事とし、2022 年度の世話人を下記の通り選任する事とした。

再 任(20 名)

石井 勉、井手口忠光、今井方丈、上田克彦、江口陽一、江島光弘、神澤良明、草山泰子、
小水 満、佐藤幸光、橋本廣信、平野浩志、藤田卓造、藤田 透、堀田勝平、本間龍夫、
前田幸一、森 克彦、梁川 功、中園誠善。以上 20 名

新 任(5 名)

菊池 務(北海道在住)、漢那聖憲(京都府在住)、橋田昌弘(熊本県在住)、
東京・関東地区在住者 1 名(森 克彦世話人が後日推薦する事とした)
隅田博臣(2021 年 11 月 19 日入会)を中・四国在住者として選任する。

3. 次年度事業計画(案)ならびに、収支予算書(案)について

例年通りとし、内容等は 2022 年 1 月中旬開催の運営・総務合同委員に一任する事とし、2022 年度第 1 回世話人会議に夫々提案する事とした。

4. 懇親活動

1. 2022 年度「春季懇親の集い」代表幹事の選任

- ・第 78 回日本放射線技術学会総会学術大会 ・会期：2022 年 4 月 14 日(木)～17 日(日)
- ・大会長：白石順二 ・会場：パシフィコ横浜

代表世話人に石井 勉を選任した。

尚、早急に 1)開催日時、2)開催場所、3)会費の事項を決定して、2022 年 1 月 15 日発行の情報誌第 62 号に掲載し、「参加申込用葉書」を第 62 号誌に同封する事とする。

2. 2022 年度「秋季懇親旅行」の代表世話人の選任

第 50 回秋季学術大会

会 期：2022 年 10 月 7 日(金)～9 日(日)

会 場：国際ファッションセンター(東京都)

大会長：飯田紀世一

開催地が東京である事を考慮して、懇親旅行を行わず「懇親の夕べ」として開催する事とする。

代表幹事：森 克彦を選任した。

尚、開催の詳細事項は 2022 年度第 1 回世話人会議に提案し、承認を得る事とした。

5. その他

1) 会議関係

① 2021 年度第 1 回運営会議・総務委員会合同委員会

- ・日時：2022 年 1 月中旬(予定) ・場所：JSRT 事務局
- ・議題：2022 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の計画等

② 2022 年度第 1 回世話人会議

- ・日時：2022 年 4 月 16 日(土) ・場所：パシフィコ横浜会議センター(予定)
- ・議題：・規約第 9 条第 2 項から第 7 項^{脚注-2}に定められた事項の決定
 - ・2021 年度事業報告、収支決算書報告、2022 年度事業計画(案)、収支予算(案)の提案
 - ・その他。

③ 2022 年度第 1 回運営委員会

- ・日時：2022 年 4 月 16 日(土)
- ・場所：パシフィコ横浜会議センター(予定)
- ・議題：規約第 9 条第 5 項^{脚注-2}に定められた事項(各委員会のメンバーの承認)等

④ 2022 年度第 2 回世話人会議

- ・日時：2022 年 10 月 8 日(土)
- ・場所：国際ファッションセンター(東京都墨田区予定)

以上

脚注-1

第 10 条(会議と運営)

世話人は JSRT 事務局の支援をうけて、当会事業のすべての企画、運営に当たる。なお、世話人は書面、メールなどの通信手段を使って意思決定を行うこともできる。

2. 世話人は原則として年 2 回、春・秋の JSRT 学術大会時期に開催し、総会学術大会時の世話人会を通常総会と位置付ける。
3. 会長は会員に対して、年 1 回以上は会の現況等、を報告しなければならない。

脚注-2

第 9 条(世話人ならびに役員・委員)

この会に 25 名以内の世話人をおき、世話人を構成する。任期は 4 年とし、再任を妨げない。

2. 世話人の内より、会長 1 名、副会長 4 名以内、庶務・会計 1 名、会計監査 1 名を選任する。

《JSRT 情報》

『第 78 回総会学術大会』 JRC2022 テーマ：未来への潮流と変革

—Radiology-A key for the paradigm shift—

大会長：白石順二(熊本大学大学院)

会 期：2022 年 4 月 14 日(木)～17 日(日)

会 場：パシフィコ横浜会議センター他

『第 50 回秋季学術大会』 大会テーマ：心 技 体 Ready to Go ! “Next Stage”

大会長：飯田紀世一(東京慈恵会医科大学附属病院)

会 期：2022 年 10 月 7 日(金)～9 日(日)

会 場：国際ファッションセンター(KFC Hall&Rooms・東京都墨田区横網)

+ Web(ハイブリッド開催)

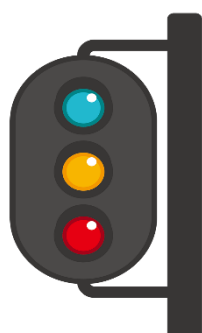
《連 載》

「安比奈麻線観て歩き」その 5

川越市 森 克彦

		
南大塚駅入口から安比奈方面	南大塚駅前の保存レール-1	南大塚駅前の保存レール-2

上記写真のように南大塚駅近郊のレールは所々撤去されているのが見て取れます。左奥のレールは、現在では取り外されそのまま保管されています。(2020年7月17日撮影：右・写真)



		
南大塚駅前道路のレール	南大塚駅構内のレール	レール撤去後と保管まくらぎ

南大塚駅構内のレールも所々残されているが、将来は消滅するものと考えられます。

		
構内に残されたレール	撤去保管されたまくらぎ	廃線側から見たプラットフォーム

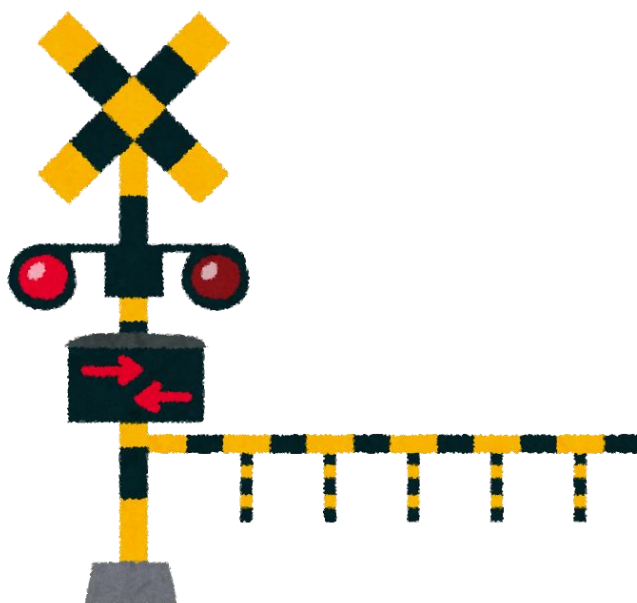
廃線構内に撤去・保管された「まくらぎ」は、西武新宿線にて使用されていたものと考えられます。安比奈貨物線敷設・管理の時代は、木の「枕木」が使用されましたのでコンクリート製「まくらぎ」でないことと考えます。

[註]まくらぎ(枕木)について

近年の枕木は木製でないものが増えてきており、実情に合わせて表記も「枕木」から「まくらぎ」「マクラギ」に置き換えられてきています。国土交通省は軌間(レールの間隔)が広がり過ぎたことによる地方鉄道での相次ぐ列車脱線事故を受けて、2018年6月、木製より耐久性が高いコンクリート製枕木への取り換えを中小私鉄、第三セクター鉄道、貨物鉄道事業者へ通知した。と告示されています。

		
北口回廊からのレール	北口階段横からの構内	南大塚駅北口入口
		
西武新宿線普通電車停車の停車中	廃線側は現在も路線跡地の盛り上がりを確認できます	電化時の高圧線引き込み場所と考えられます

最後に、自宅を出発して「安比奈貨物線」に出来るだけ沿って辿る経路をアプリで計測した結果を右に表示してあります。勿論、経路の選択肢は数え切れないほど存在しますが、筆者の思うままに計時した結果ですのでご了承ください。なお、経路は数か所を数回に渡り下見しております。



【あとがき】

2年余りにわたり「安比奈貨物線(廃線)」を巡っての感想を纏めてみましたが、廃線が決定してからは(公式発表後)、安比奈貨物線管理地の対処方法に著しい変化を感じるのは筆者だけでしょうか。下記の写真をご覧戴ければ一目瞭然とご納得いただけるのでは無いでしょうか。2019年1月の時点と2021年2月では、安比奈駅舎跡前の木々の伐採及び車両の車止め地点のブッシュの刈込などにより、水管橋が間近に見ることが出来ます。あと何年かするとこの管理地は他の用途へと転換していくのではないかと考えられます。少し寂しさを感じる昨今です

		
2019年1月・撮影1：安比奈駅舎跡	2019年1月・撮影2：安比奈駅舎跡	2019年1月・撮影3：安比奈駅舎跡

が時の流れとはこのようなことなのでしょう。2年余りに及ぶ掲載をお楽しみいただけたでしょうか。機会がありましたら「安比奈廃線」、その後をご披露したいと思いつつ搁筆と致します。

		
2021年2月・撮影1：安比奈駅舎跡	2021年2月・撮影2：安比奈駅舎跡	2021年2月・撮影3：安比奈駅舎跡

《編集の小窓》

筆者が居住するステーションのロータリーリニューアル化工事が3年余りして安全・防護のためのシート囲いが取り外され大枠での工事が終了したものと考えて見慣れた景色を何とはなしに眺めると、公衆電話ボックスが5から3か所に削減されていました。ニュースでも時々話題に取り上げられていますが、公衆電話は、市街地ではおおむね500メートル四方に1台、それ以外の地域はおおむね1キロメートル四方に1台を設置することが国のルールで義務づけられ、現在は全国で10万台余りが設置されています。しかし、携帯電話の普及で利用が減っていることから、総務省が有識者会議でルールの見直しを検討する会議で示された報告書案は、市街地ではおおむね1キロメートル四方に1台、それ以外の地域はおおむね2キロメートル四方に1台へとルールを緩和し、今のおよそ4分の1の2万7000台程度に減らすとしています。一方、災害時の通話手段の確保のため、自治体の避難所やコンビニに事前に配備される災害時用公衆電話の普及を進める方針で、その費用については、すべての電話の利用者などが負担するユニバーサルサービス料から補填するべきだとしています。(2021年4月26日付)会員の皆様の居住地には公衆電話ボックスが近くに設置されておりますか。筆者の居住地から約100メートル南西方向の横断歩道橋の下に1台設置されています。(下・左：公衆電話ボックス、下・右：ボックス内公衆電話機)



知っていますか！！「緊急時の電話のかけ方」

受話器を手取る→番号ボタンを押す。(お金やテレホンカードを入れずに「警察：1・1・0」消防車や救急車「1・1・9」を押します。)赤いボタンがあるときは注意！赤いボタンが付いている公衆電話の時は、受話器を手にとり、赤いボタンを押してから「1・1・0」、「1・1・9」を押します。

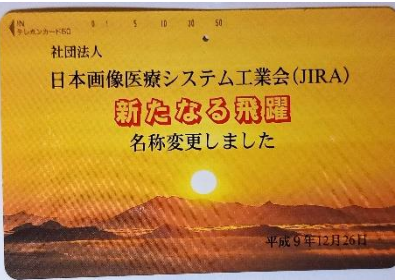
公衆電話が一般的に普及したのが、1974年(昭和49年)以降の様です。80年代から90年代前半にかけてカード式電話の導入やポケットベルの爆発的ブームのため利用者が急増しました。それともなると、公衆電話の設置台数は84年をピークに80万台を維持した十数年間が全盛期です。この十数年間の流れの中でテレホンカード式の公衆電話を1982年(昭和57年)12月に使用を開始して90年代に利用者が急増したが、その後はスマートホンへと切り替わり、最新データ(電気通信事業者協会：TCA)によれば(2021年3月末時点)154.0%の普及率となっているとの報告があります。

会員の皆様は、プリペイドカード(テレホンカード)を持っていますか。筆者が所持しているテレホンカードは、1994年(平成6年)から2000年(平成12年)にかけて贈呈されたカードが多く、自身で買い求めたカードは10枚程度と記憶しております。贈呈されたテレホンカードの中から記憶に残る8枚を選定して掲載しましたのでご覧ください。会員の中には懐かしく感じられるテレホンカードもあるのではないかと思います。

プリペイドカード(英: prepaid card 略語: プリカ)とは、予め入金して積み立てておく形(前払い)で一定金額の価値を有し、商品やサービスを提供してもらう権利のあるカード型の有価証券(金券)です。プリペイドカードはトラベラーズチェックなどと同じく前払式決済の一種です。一般的に、テレホンカードと言えば磁気テレホンカードを指しますが、後に登場したICテレホンカードと区別するため、NTTでは、この呼称を使用しています。発売開始当初は、50度数・100度数・300度数・500度数の4種類が発売されました。後に100度数以上のカードについてはプレミア(おまけ)が加えられ、販売価格は据え置きで、105度数・320度数・540度数として売り出されました。日本で最初に発行されたテレホンカードは、岡本太郎デザイン(右図)によるものです。

また、発売開始当初は、カード購入時に公衆電話での使用方法を書いた「ご利用の手引き」「テレホンカードが利用できる公衆電話の設置場所の案内」も渡されたようです。現在は、ピンク電話を除くほとんどの公衆電話がテレホンカードを使用できるものになっており、中には硬貨が使用できないテレホンカード専用の公衆電話もあります。「テレホンカード専用」という表記があります。



		
日本放射線技術学会・東京部会 第50回総会記念：1996年発行	日本画像医療システム工業会 (JIRA) 名称変更：1997年発行	JMCP・10周年記念 1997年発行

		
JMCP1999 第58回日本医学 放射線学会総会：1999年発行	(社)東京都放射線技師会 謹賀新年：1999年発行	日本医学物理学会(JSMP) 発足記念：2000年3月1日

皆様お持ちの、テレホンカードは現金に払い戻すことはできないようです。然しながら、NTTに加入している場合、月々の電話料金のうちダイヤル通話料金の支払いに充てることができます。この場合、未使用のテレホンカードのみが対象となっており、その際、テレホンカード1枚につき50円(税込52.5円)の手数料が必要となります。

この手続きは郵送もしくは一部のNTT窓口で行っていますが、地域によっても異なるので、詳しくは局番なしの「116」へ問い合わせてみては如何ですか！

他の方法として、金券ショップやチケットショップで買い取ってもらうという方法もあります。

テレカの図案の多くは、横長で筆者の所蔵するテレカも右写真を除き、縦型の図案は有りませんので貴重な1枚と考えております。

【関東・東京部会合同研究発表会開催時のテレカ】

1996年発行

社団法人日本放射線技術学会

第42回関東・東京部会 合同研究発表会

— 21世紀の放射線医療・人と技術 —

開催日 平成8年2月3日(土)、4日(日)
会場 千葉市民会館



月の砂漠記念像
千葉県夷隅郡御宿町

主催 (社)日本放射線技術学会千葉支部
共催 千葉市

写真提供 (社)千葉県観光協会

因みに、現在・NTT 東日本/西日本がデザインし、販売するカードは下記の2種類です。

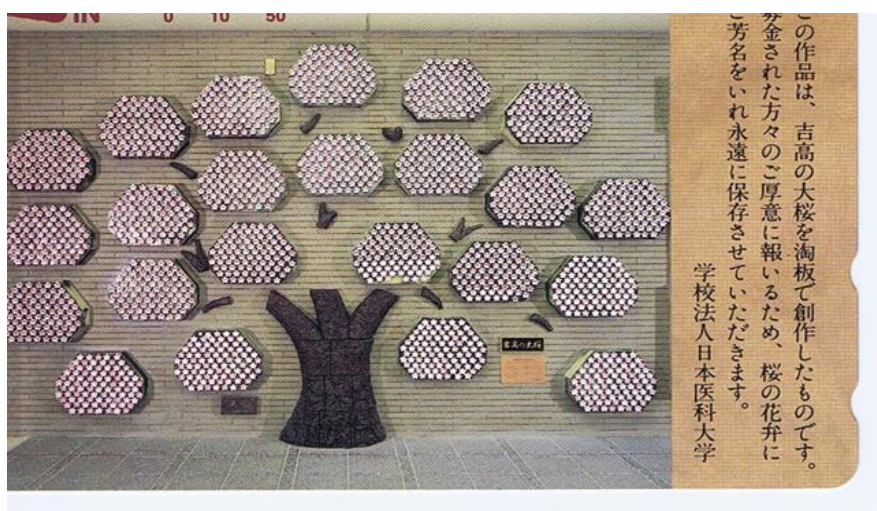


NTT 東日本ホームページより、転載

最後に勤務していた日本医科大学より贈呈された「テレカ」をご覧ください。

日本医科大学千葉北総病院(所在地：千葉県印西市鎌苅)。学校法人日本医科大学が運営する大学付属病院として1994年(平成6年)1月26日に開院、記念として、募金者に配布されたテレホンカードです。テレカには下記のように記載されております。小生も記念の淘板(名前)を見て誇らしく感じたことを思い出します。

【 この作品は、吉高の大桜を淘板で創作したものです。募金された方々のご厚意に報いるため、桜の花弁にご芳名をいれ永遠に保存させていただきます。 学校法人日本医科大学 】



ピンク電話(特殊簡易公衆電話：飲食店などの店内)と赤電話(委託公衆電話：駅・公共施設・テーマパーク・ショッピングセンター・商店等の構内)現在は、なかなか見かけなくなりましたが、懐かしく思い出します。(硬貨専用)

森 克彦、記

FAR 情報誌 No. 62(非売品)

発行日 2022年1月15日

発行者 川上壽昭

編集委員会 森 克彦(委員長)
石井 勉 江島光弘
橋本廣信
山田和美(顧問)

森 連絡先 Tel&Fax

049-225-2619

Email:mokamokawh@gmail.com